

1. 本授業科目の基本情報			
講義名 (コード)	THB123C	ビジネスマナー IC	
科目名 (コード)	THB123	ビジネスマナー IC	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1年生
対象コース	HB1	単位数	2単位30
授業担当者	竹内通子	時間数	
成績評価教員	竹内通子	講義期間	春期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要	
到達目標・目的	日本語を使ったビジネスを行う上で十分な日本語力を養い、日本語能力試験N2の取得を目指す。
全体の内容と概要	N2の文字語彙文法を中心に学ぶ。試験形式と同様の4択問題を使い資格試験の対策をしっかりと行う。試験形式とは異なるが、語彙を書かせる問題にも取り組みしっかりとした定着を目指す。
授業時間外の学修	授業で学んだ語彙、漢字を復習しておくこと。
履修上の注意事項等	学生の希望等によりスケジュールは変更する場合がある。出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	読解の基礎を身に付ける	ガイダンス(年間授業スケジュール、到達目標) 必ずできる！ JLPT「読解」N2 Step1 Level 1 ウォームアップ①
2	読解の基礎を身に付ける	パワードリル文字語彙N2 必ずできる！ JLPT「読解」N2 Step1 Level 1 ウォームアップ②
3		演習問題
4	読解の基礎を身に付ける	パワードリル文字語彙N2 必ずできる！ JLPT「読解」N2 Step1 Level 1 ウォームアップ③
5	読解の基礎を身に付ける	パワードリル文字語彙N2 必ずできる！ JLPT「読解」N2 Step1 Level 1 ウォームアップ④
6	読解の基礎を身に付ける	パワードリル文字語彙N2 必ずできる！ JLPT「読解」N2 Step1 Level 1 ウォームアップ⑤
7	読解の基礎を身に付ける	パワードリル文字語彙N2 必ずできる！ JLPT「読解」N2 Step1 Level 1 ウォームアップ⑥
8	語彙から内容理解できる	パワードリル文字語彙N2 必ずできる！ JLPT「読解」N2 Step1 Level 2 2 練習問題 1 日目
9	語彙からば内容理解できる	パワードリル文字語彙N2 必ずできる！ JLPT「読解」N2 Step1 Level 2 練習問題 2 日目
10	JLPTN2の問題形式に慣れる	JLPT模試 N2 読解&解説
11	JLPTN2の問題形式に慣れる	JLPT模試 N2 読解&解説
12	語彙から内容理解できる	パワードリル文字語彙N2 必ずできる！ JLPT「読解」N2 Step1 Level 2 練習問題 3 日目
13	語彙・グラフでの内容理解できる	パワードリル文字語彙N2 必ずできる！ JLPT「読解」N2 Step1 Level 2 練習問題 4 日目
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	必ずできる！ JLPT「読解」N2 パワードリルN2 文字語彙
参考文献・資料等	適宜配布
備考	木曜日 2 限